

## 2024年度 事業計画

### ●はじめに

新型コロナが社会に与える影響は殆どなくなりつつありますが一方では、コーダイを取り巻く環境の変化、時代の変化は年々厳しくなっています。例えば快適な学習の場の提供の問題、賃借料大幅アップによる教室分散化の問題、賃借料・インボイス制度・諸物価高騰などによる経費アップの問題、世代交代・世代間ギャップの問題などがあります。

これらの課題対応は勿論のことですが、同時にコーダイの大きな柱である生涯学習に対する運営方針・活動方針の修正も必要な時代に入っているのは明白です。

昨年度は世代交代元年と位置付けて、ニューコーダイ創造活動の大きな目的である「人材発掘・人材養成」「組織のフラット化」「学習グループの強化」「CDが活動し易い環境創り」などに注力してきました。しかし、まだ目標を完全に達成できるレベルには至ってはいません。今年度は4年目に入った「ニューコーダイ創造活動」の最終仕上げの年になり、厳しい環境変化に臨機応変に対応できる体力を付ける必要もあります。

その為にも最終年度に入ったニューコーダイ創造活動を今一度検証し、「現状を打破し、未来へ挑戦する」という強い意志を持ちながら、更なるコーダイの改革・改善に繋がる様な新しいことに自発的にチャレンジし、コーダイの発展に寄与できたという実感を味わえる環境を創っていく必要があります。

そして、目指すのは「子どもから高齢者まで笑顔と活力で満ち溢れた生涯学習校」であることを常に念頭に置いて活動して行くことが大切です。

### ●事業計画

上記のことを念頭に置きながら主に次の様な事業計画を実施して行きます。

1. 昨年度、部門制からグループ制に大きく組織を変更した趣旨を念頭に置いて、この体制下での活動を軌道に乗せ、新体制の効果を存分に発揮できる様にします。  
同時に、各グループはニューコーダイ創造活動の趣旨に相応しいテーマに挑戦し、コーダイの発展に寄与できる様に活動します。また、責任と権限の強化を図ります。
2. 否応なく進んでいる教室分散化のデメリットを解消しながら、コーダイ関与者の一体感を維持できる仕組みを構築します。また、教室探索委員会を中心に教室確保活動は継続し、快適な学習環境の提供に努めます。
3. 環境変化を先取りし、先を見据えた魅力的な新学習システムを構築すると共に「心地良い居場所」の提供に努めます。また、昨年度に引き続きビッグイベントの入学式、コーダイ健康まつり、コーダイフェスタの見直しを継続し、受講生がより楽しめるイベント構築を図ります。
4. 今まで以上に科目の新陳代謝・魅力的な講師の発掘を強力に推進し、生涯学習校の根

幹部分を強化しながら受講生の満足度を高めて行きます。同時に、コーダイの魅力度アップ、地位向上も図って行きます。

5. 人材養成の一環としてスタッフ、CDを含めた現状の研修制度を見直し、先を見据えた研修制度を構築します。
6. コーダイの重要な柱の一つである社会参加活動を検証し、時代にマッチした新たな活動方針・活動内容を確立させます。
7. 昨年度以上のスピードでデジタル化を推進し、活動の効率化・利便性をよりアップさせます。
8. コーダイの理念の一つにある環境問題の取り組みとして、従来のコピーの削減活動に各講師・受講生にも協力を依頼し、効果を高めてまいります。また、新たにSDGsにも取り組みます。
9. 募集活動の在り方を見直し、3,000人以上の応募者確保、多くの新人確保を目指したシステム構築を図ります。
10. コーダイの認知度を上げる仕組みを検証し、目に見える形で認知度アップを実感できる様に努めます。
11. 継続して財務システムの強化を図ります。

## ●学習グループ

<はじめに>

時代は変化しています。止まれば、時代に置いて行かれます。状況がどんどん変化する中、「巧遅より拙速」で、「ダメならすぐ修正して対応する」それが可能な時代です。

<2023年度の振り返り>

課題対応は、都度迅速に行えました。積み残しとしては、「社会参加活動」に関わる新たな枠組みを構築するまでには至りませんでした。

<2024年度学習グループのスローガン>

“全ての受講生が満足して卒業できる生涯教育の場であること”  
=笑顔で迎える成果発表会・修了式=

### 1. 2024年度 課題と対応

#### 1-1) CDが活動し易い環境創り

- ① 人材育成と発掘→新会議体の確立&研修制度の見直し
- ② 新任CD研修：2~3月 高大方針とCDマニュアルの理解  
4~5月 クラス運営実践と曜日担当のフォロー
- ③ 分野別CD研修：教科研究グループ協働で、カリキュラム編成・講師選定

#### 1-2) 教室分散化に伴う各種会議体の見直し

- ① CD会議：情報共有（連絡事項）はZoomミーティングで行います。  
課題会議は曜日CD及び教室別CD会議を行います。

#### 1-3) スタッフサイトの徹底活用

カリキュラム/年間スケジュール/申請帳票/各種規約・CD マニュアル他

#### 1-4) 分室活用

- ① サテライト教室の機能的運用（コピー機、Wi-Fi 環境、PC 設置）を図ります。
- ② サテライト教室担当表作成と臨機応変に対応できる体制を確立

#### 1-5) 新学習システム提言

- ① 全講座の見直し & 数の見直し、講師交流及び新旧交代

「新学習システム委員会」で教科研究グループ協働による新学習システムを検討し、2025 年度以降の学習システムを提言します。

#### 2. コーダイ「新社会参加活動方針」の確立と活動内容の実践

コーダイ 2 本柱の一つである「社会参加活動」を検証し、時代にマッチした新しい活動方針・活動内容を提言しカリキュラム編成に組み入れます。

### ●教科研究グループ

現在の応募科目とほぼ同数の 59 科目の講座を開設した 2014 年から 10 年が経過しました。当時の開講科目と現在の開講科目の内容を比べてみると 6 割程度がほぼ当時の継続科目です。その様な状況下で本年度の応募状況を観てみると人気科目と不人気科目が顕著となっています。そこで本年は生涯学習校の設立の原点に立ち返り、受講を希望される方々に受講してみたいと思っただけの「魅力のある科目」作りに注力します。

#### 1. 分野別専門部会メンバーが CD の方と一緒に良い講座作りを行います。

- ① CD の方と一緒にクラスアンケートを読み込み、各科の課題と改善策を立案し、カリキュラムに反映させます。
- ② 分野別専門部会メンバーが実態把握の為、従来以上に授業に参加します。
- ③ カリキュラム等、授業内容を改善した内容を受講生の方に知っていただく工夫を行います。
- ④ 今後もクラスアンケートを継続して実施します。

#### 2. 新科目提案制度を充実させます。

- ① 昨年に引続き受講生・スタッフの方々より 2 年後の開講を目指すオーダーメイド提案を募集します。
- ② 検討が決定したオーダーメイド提案講座の「科目構築メンバー」について本年度も継続して、受講生・スタッフより募ります。
- ③ 年末には従来から継続している科目提案も募ります。

#### 3. 講師リストの内容充実を図ります。

#### 4. 今年度も継続して大学、教育期間との関係構築を行います。

#### 5. 2026 年開講科目は 2025 年 3 月末迄に決定します。

- ① 募集一次締切り後に休講検討候補科目を該当 CD に伝えます。
- ② 課題科目については、募集一次締切り後に分野別専門部会メンバー並びに該当 CD の方々と検討を開始します。

- ① 講座開講時にはCDの方に授業に専念いただけるようにします。
6. コーダイ市民公開講座を開催します。
  - ① コーダイを世間の方にもっと知っていただく機会として、コーダイ市民公開講座を行います。
  - ② 併せて現行の受講生の方々に対しても興味を持っていただける内容として参加を募ります。
  - ③ 講座内容は様々な分野のテーマを取り上げ、幅広い方々に興味を持っていただける内容とします。10月、11月は募集活動に繋げる講座を計画します。
7. 受講生の方を対象に教養講座を開催します。

## ●事業グループ

事業推進・子ども事業・ファンド・校友会が相互連携の基に一体となった事業グループの活動を目指します。

### 1. <事業推進チーム>

これまで行ってきた事業の見直しと、課題になっている新たな活動へ向けた具体的な動き及びこれまで実績を積み上げてきた事業のさらなる発展を目標とします。

- ① 救命講習、特殊詐欺対策講習会の一般市民への参加呼び掛けを積極的に行います。
- ② 地域貢献を視野に入れた産地ツアーの年間計画等、寄附金活用による社会参加を企画します。
- ③ 大阪の伝統文化への支援対象選定と公的援助可能性に向け、対外活動を始めます。
- ④ 収益の計上を主眼とした事業部イベントの実施へ向け、まずは内部で検討チームを作ります。
- ⑤ 年1回の音楽会・マラソンボランティア参加を継続実施します。

### 2. <子ども事業チーム>

子ども科学実験を中心とした活動は、子ども・保護者・スタッフが一体となり大きな成果を上げています。引続きこの伝統を維持して行きます。

- ① 子ども科学フェスティバル（夏：大阪市天王寺区民センター）  
「法円坂子どもプラザ」「子どもプラザ高槻・堺」「伝統文化親子教室」「科学実験体験」「子どもプラザ」等の開催及び計画詳細案が決定し具体的な活動に入ります。
- ② スタッフの育成と引継がこれからの大きな課題であり、課題解決に積極的に取り組んで行きます。

### 3. <ファンドチーム>

寄付金を増やす仕組み、寄付金活用システムの構築、予算・分配の明確化について基本的な考え方は構築済みです。

- ① 寄附金活用事業の具体的な内容確定に向けて問題点の再確認と課題解決を行います。
- ② 寄附活動における対象者選定と時期・方法については、さらなる検討を加えてス

ーズな運営を図ります。

③ 裾野を拡げる為には何をなすべきかを今後の大きな目標とします。

#### 4. <校友会>

コーダイグループとしてさらなる発展を目指します。

① 校友会の楽しみを受講生に知ってもらう様な働きかけを行い、同窓会への加入者が  
増える仕組みを検討・構築をして行きます。

### ●情報管理グループ

#### <情報管理チーム>

1. 募集データの集計システムを通して新受講生へ合格通知の発送、入金管理にて受講決定後、入学案内など発送し、受講生名簿・名札・受講生台帳など入学準備の体制づくりを行います。
2. 受講生、講師、スタッフのデータベース化を推進し個人情報の管理運営に努めます。
3. ホームページでは募集要項、応募状況をリアルタイムに掲載発信し、申込みフォームからの申込み数を1,000件以上目指します。
4. 受講生台帳の集計管理と出席簿の学期単位のデータベース化、並びに修了証書の発行を行います。
5. 事務所内ネットワークシステムとパソコンなどの機器の保守管理を行います。

#### <デジタル推進チーム>

1. パソコン・スマホのスキルアップ講座を実施します。
2. オンラインシステムの理解度を高めることを目的に他グループと協働し、スキルアップを図ります。
3. SNS (Facebook・X (Twitter)・Line など) の会員登録数の増加を図ります。
4. 各教室 Wi-Fi 使用可能にします。

#### <デジタル推進プロジェクト>

1. イベント参加料等の支払いシステムの電子化(NET 払い・コンビニ払い等)を構築します。
2. 出席簿・講座実施報告書・講師承諾書・交通費等のデジタル化による効率アップを図ります。
3. パソコン・スマホ研修会を実施しコーダイ関係者のスキルアップを図ります。

### ●広報グループ

広報グループはコーダイの認知度を高め、愛称コーダイを浸透させるための仕組みを検証し、目に見える形で認知度アップを実感できるように努めます。

#### <HP・SNS活用>

1. コーダイを認知してもらうための最大ツールである HP を最大限に活用します。

常に新しい情報の収集を行い、HP の更新を頻繁にして訪問者数の増加を目指します。各講座の「受講生の声・講師の声」を充実させます。

2. SNS に関しては、今まで以上にコーダイからの情報伝達ツールとして、ラインカフェを活用します。役に立つ貴重な情報や新着情報をいち早く伝える手段として、コーダイ生にとっては必須のツールになるようにし、全受講生の登録を目指します。
3. Facebook・Twitter・Instagram それぞれの特徴を生かした使い方を考えます。

#### <広報ツール>

1. 広報誌「れいんぼー」「学校案内」「募集案内」等、紙媒体を発行するにあたっては、それがコーダイの認知度アップにつながっているのか、読者が必要としている情報が提供されているのかを考察し、コンテンツの見直し・レイアウトの刷新・ページネーションの再考等を行い、内容のレベルアップを図ります。  
また、様々な機会を捉えて配布するようにし、配布先の見直しも図ります
2. コーダイの認知度アップのために制作したプロモーションビデオをフルに活用し、新たな受講生の獲得に繋がります。

#### <パブリシティ>

1. 効果的なプレスリリースの配信を行うために、配信先を見直し新規メディアを開拓し、SNS を駆使しての配信を進めます。
2. メディア訪問時には、プロモーションビデオ・学校案内を持参し、ラインカフェへの登録を依頼し、メディアへの情報提供をリアルタイムで行います。

#### <SDG s の推進>

1. 環境問題の取り組みの一環として印刷物、コピーの削減に取り組みます。  
印刷申込の流れを確立し、過剰な部数の印刷をなくします。

## ●総務グループ

この間の物価上昇は、教室の利用料の値上げをはじめ事業推進のあらゆる場面に影響を及ぼしています。郵便利用料金の値上げ予定、経過処置があるとはいえインボイス制度によるコーダイ負担など先を見越した予算編成・経費管理がますます重要となります。四半期ごとの実績管理と予算内運用を図るべくグループ毎の経費管理をサポートします。

今年度の大きな動きの一つに 2025 年 1 月の新事務所移転があります。移転を契機に事務所機能の効率化・簡素化を図る必要があります。その為に移転計画と合わせて諸規定・備品などの整備や整理を行います。また、更に進む教室の分散化に対応し、学習グループとの連携を密に教室の確保に加え災害に備える施策を構築していきます。

#### <経理チーム>

各授業の場である教室代(賃借料)の大幅アップが発生するなか、より無駄な経費の削減を目指すため、各グループ・スタッフ・CD との話し合い等を綿密に行います。

昨年 10 月より施行されているインボイス制度の周知徹底を繰り返し行うことにより、各グループ・スタッフ・CD により理解を進めていきます。同様に本年 1 月より施行され

ている電子帳票保存法について、内容の理解とルール化を図り、法制度に対応していきます。

#### <事務局チーム>

##### 1. 新事務所への移転と事務所業務の効率化

2025年1月の予定で新たに建設される新しい教育会館事務所に移転します。移転にあわせて文書や備品等の適切な管理を行います。

また、事務所レイアウトなどを見直し、情報の共有化などをおして事務所業務の効率化を目指します。

##### 2. 2025年度の教室確保と適切な運営

各グループと協力して、教室の確保を図り、適切な運営を目指します。

##### 3. 組織運営全般に関する諸規定、ルールの作成と運用

文書や備品等管理、情報の適切な収集と管理、業務処理手順など組織運営に必要な規定やルール等の作成と整備を行い、運用を図ります。

##### 4. 災害対応

こんにち多発する災害や将来想定される大きな災害等に対応した避難訓練の実施や災害発生時の初期対応、災害に備える事前行動などの防災意識を高める活動を検討します。

## ●募集委員会

応募者3,000名以上の目標に向けた具体策を考え、コーダイを初めて応募する人を増やすための具体的施策を検証し実行に移します。

コーダイに通われた方、コーダイに興味を持たれた方、それぞれの皆さんに、講座改革委員会で決定した2025年度の講座内容等を解り易く説明することを活動の基本とします。

1. 活動に当たってはその役割内容に応じたチームを編成し、メンバーの情報共有化を重視します。

2. 募集開始から締切まで及び締切後2次募集に至る日程について検証します。また、教室の分散化に伴い、2次募集の方法を根本的に見直します。

3. 講座説明会の会場については、受講生の居住地・これまでの説明会への参加数を勘案しながら再検討します。

4. 募集案内に関する自治体への広報掲載依頼はこれまでより活動時期を早めます。また、自治体への案内冊子配架の方法も再検討します。

5. 新人確保を応募者の4割とする目標を従来から設定していますが、その達成に向けた具体策の検討を早期に開始します。

6. HP・LINE等、音声での案内を含めコーダイ広報を積極的に行います。また、大阪府や企業・新聞などとの連携を模索していきます。

多くの皆様にコーダイを知っていただけるように、そして、ご応募された方々が学びながら、仲間を作って楽しい1年を過ごしていただけるように、全力で取り組んでいきます。